

# 「新型コロナ対策前進を」に共感

## 近畿いっせい宣伝 切実な声次つぎ

近畿いっせい宣伝が13日に取組まれ、394カ所で15.7%の党支部、1683人(議員230人)が参加、2万751枚のピラをまきました。宮本たけし前衆院議員(近畿比例・大阪5区候補)が阪急神崎川駅で宣伝(写真右)するなど、国政候補や地方議員が先頭に立ちました。

新型コロナウイルス感染症拡大のなか、中止したところもありましたが、この問題への関心は高く、“乗降客は減っているが、ピラの受け取りはよかった”という報告が多く寄せられました。「『コロナ対策を前進させましょう。共産党です』と声をかけながら配布すると、通り過ぎようとした若い男性サラリーマンが振り返って受け取り、高校生も受け取った。30分で27枚配布」(京都市中京区)などの例もありました。日曜版の宣伝紙は大阪・茨木豊能、河南、京都・口丹の各地区などが配布。「コロナの記事、載っていますか」と聞いてくる人もいました(河南地区)。

□「通勤にマスクがいる。出回るように何とかしてくれ」(滋賀・貴生川駅)「タクシー運転手から乗客、売り上げが半減しているの声」(滋賀・草津駅、守山駅)。

□中小企業支援、派遣切りの問題での訴えは立ち止まって聞く。学校休校の訴えは子どもたちが聞いていた(大阪・桃谷駅)。県委員長を先頭に勤務員が宣伝。ピラの受け取りはよい感じ。市民も情報を求めているのではないか(神戸市・三宮)



## 新型コロナ問題で奮闘している共産党

### 大阪・中央区再選挙 山下副委員長が訴え

22日投開票の大阪市中心部の再選挙で奮闘する小川陽太候補の支援に駆け付けた山下芳生党副委員長・参院議員は新型コロナウイルス感染問題での共産党の取り組みについて次のように訴えました。

#### ①地方議員と連携して、具体的で建設的な提案

・営業と雇用 雇用調整助成金の要件緩和をさせてきた。フリーランスにも当初助成がなかったが、助成を実現。もっと拡

充して、範囲をひろげるために頑張る。

・学童保育 学童保育は朝から開けて頑張っている。そのための補助金を増額させてきた。引き続き、みなさんの声をとどけて、政治を動かすために頑張る。

#### ②政府の姿勢をチェックしただす

・一律休校では、科学的根拠を示せと追及。小池書記局長の質問に萩生田文科大臣が「自治体の判断にまかせる」。

・田村副委員長は「保健所の人員増やせ」と求め、「こういうときに公的病院の削減などダメだ」と追及。

○現場の声を届けて政治を動かすのが日本共産党。そのためにも地域で頑張る小川陽太さんを市議会へ。こんな時にカジノをつくるような大阪市政でいいのか。小川陽太さんを議会に送ってカツを入れよう。

### 20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 20(2020.3.16)